

経営体の概要

- ・所在地：岐阜県本巣市
- ・経営体名：鷺見隆
- ・栽培作物・作付面積：138.7a(柿)、34.9a(いちじく)
- ・雇用形態・人数：家族4名、臨時雇用6名～7名
(令和6年1月現在)

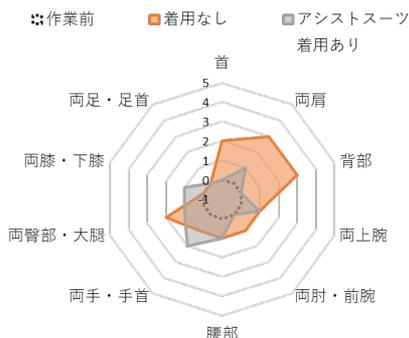
導入技術

- ①リモコン式除草ロボット(RS400-2) ((株)丸山製作所製)
 - ・バッテリー 1 個あたり草刈り作業時間約60分、充電時間約120分、刈り幅 716mm
- ②アシストスーツ(ATOUN MODEL Y) ((株)ATOUN製)
 - ・アシスト力 最大10kgf、稼働時間 約4時間

①リモコン式除草ロボット疲労度



②アシストスーツ疲労度



導入経緯

- これまでは、労働力の確保をシルバー人材センター等に依存していたが、重労働ということもあり、なかなか引き受けてもらえない状況であった。新型コロナウイルスの拡大等に伴い、労働力不足の状況はさらに深刻化している。
- そこで、作業時間の低減効果や労働力不足解消を目的とし、令和2年度にスマート農業技術実証農場設置事業を活用し、リモコン式除草ロボット及びアシストスーツを導入した。

取組の特徴・効果

①リモコン式除草ロボット

- 従前の方法である刈払機による草刈りと比較し、1a(100m²)あたりの作業時間が、約31%の削減された。(刈払機：34分24秒、リモコン式除草ロボット：23分53秒) 疲労度についても、肩と腰の疲労感が大きく軽減された。
- また、刈払機では株元の際の除草が困難（株元に傷をつける恐れ等）であったが、リモコン式除草ロボットは、タッチメントを活用することで、株元を傷つけることなく作業が行えることも大きなメリットであることが確認された。

②アシストスーツ

- アシストスーツの着用により疲労度は半分程度軽減した。運搬効率はわずかに低下したものの、疲労度の軽減により本来ならば適宜休憩が必要なところ、休憩時間を短縮して次の作業を行うことが可能になると推察された。(補助装置なし：111kg/分、アシストスーツ装着：99kg/分)